（別紙4（2））

事業所名：グループホーム　コーヒーの家・紅茶の家

作成日：　令和　3　年　10　月　7　日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6 (5)	身体拘束に関するホームでの取り組み状況に関し、身体拘束実施の有無に関わらず、身体拘束適正化検討委員会に具体的に報告し、明確に記録として残しておく事が望ましい。	身体拘束の検討記録とケアカンファレンスを図り、職員全体で実践に取り組んでいる経過を身体拘束適正化委員会に具体的に報告し、記録に残す。	身体拘束適正化委員会を運営推進会議の中に入れた方がスムーズに運営できると思い次回より組み入れる事を議題にする。	2ヶ月
2	35 (13)	災害避難訓練は実施しているが火災避難訓練については本年度は実施していなかった。	早急すみやかに火災避難訓練を実施する。	災害時と火災時の避難訓練との違いを周知徹底して行う。	2ヶ月
3	12	就業環境の整備。職員の平均年齢も上がり、腰痛を含む体力的問題が発生している。	職員のストレス軽減が入居者様への対応、虐待防止にもつながる。	移乗時、スライングボードの使用と2人体制で対応する。	直ちに
4					ヶ月
5					ヶ月

注）項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。